



第5回 佐鳴台小学校 学校運営協議会

2026. 2. 18

浜松市立佐鳴台小学校
14時30分～16時00分
進行：史恵

- 1 会長あいさつ
- 2 校長あいさつ
- 3 議長の選出
- 4 前回会議録確認
- 5 報告 ・1・2月の学校支援活動について
・夢育やらまいか事業の報告

6 熟議

司会 議長

- ① 「いじめ防止基本方針」について
学校の自己評価説明⇒改善策について熟議⇒次年度へ
- ② 教育活動計画について
- ③ 学校経営構想について
説明 ⇒ 熟議 ⇒ 承認
- ④ 運営協議会自己評価について

7 連絡

- ・ 令和8年度 学校運営協議会の年間計画・組織について

第1回 学校運営協議会 令和8年4月22日(水) 14:30～16:00

浜松市立佐鳴台小学校運営協議会委員

(令和7年4月～令和8年3月)

No.	氏名	ふりがな	種別	性別	肩書 等
1	橋本 博行	はしもと ひろゆき	1	男	地域住民 自治会連合会会長
2	嶋津 歌絵	しまづ うたえ	1	女	地域住民 民生児童委員長
3	山下 さおり	やました さおり	1	女	地域住民
4	羽広 雄太	はびろ ゆうた	3	男	学校支援コーディネーター兼委員
5	辻 博康	つじ ひろやす	2	男	保護者
6	大西 真理子	おおにし まりこ	1	女	地域住民
7	野嶋 京登	のじま きょうと	2	男	P T A 顧問 当協議会会長
8	本間 健太	ほんま けんた	2	男	P T A 会長 当協議会副会長

【規則種別】 ※1～3は、必ず1人以上を選定する。

1：地域住民(自治会役員等)

2：保護者(PTA役員等)

3：対象学校の運営に資する活動を行う者(学校支援CD等)

4：その他、校長が適当と認める者

浜松市立佐鳴台小学校 学校支援コーディネーター

No.	氏名	ふりがな	性別	肩書 等
1	羽広 雄太	はびろ ゆうた	男	学校支援コーディネーター兼委員
2	結城 真澄	ゆうき ますみ	女	学校支援コーディネーター
3	待井 香世	まちい かよ	女	学校支援コーディネーター

浜松市立佐鳴台小学校運営協議会 オブザーバー

No.	氏名	ふりがな	性別	肩書 等
1	諏訪部 高央	すわべ たかお	男	佐鳴台協働センター CS担当

No.	氏名	ふりがな	肩書 等
1	染葉 泰伸	そめは やすのぶ	校長
2	古橋 智一	ふるはし のりかず	教頭
3	森本 智子	もりもと ともこ	主幹教諭
4	鈴木 史恵	すずき ふみえ	CS担当教職員
5	朝倉 君江	あさくら きみえ	CSディレクター 校務アシスタント

令和8年度 学校経営構想



浜松市立佐鳴台小学校

1 国及び市の方針

(1) 国の方針

○教育の目的（教育基本法第1条）

「人格の完成」「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」

○義務教育の目標（学校教育法第21条）

十の具体的目標

- ・ 自主、自律及び協同の精神、規範意識、公正な判断力を育成すること
- ・ 生命及び自然を尊重する精神並びに環境保全に寄与する態度を育成すること
- ・ 我が国と郷土を愛する態度、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育成すること
- ・ 家族と家庭の役割及び衣・食・住・情報・産業等の基礎的な理解と技能を育成すること
- ・ 生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を育成すること
- ・ 生活に必要な数量的な関係を正しく理解し、処理する基礎的な能力を育成すること
- ・ 生活にかかわる自然現象について科学的に理解し、処理する基礎的な能力を育成すること
- ・ 健康、安全で幸福な生活のために必要な習慣を養うとともに、運動を通じて体力を養い、心身の調和的発達を図ること
- ・ 生活を豊かにする音楽、美術、文芸等について基礎的な理解と技能を養うこと
- ・ 職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力を養うこと

○学習指導要領

- ・ 育成を目指す資質・能力の三つの柱
「知識及び技能」…「何を理解しているか、何ができるか」
「思考力、判断力、表現力等」…「理解していること・できることをどう使うか」
「学びに向かう力、人間性等」…「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」
- ・ 「個別最適な学びと協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善の推進
必要に応じた重点的な指導と個に応じた学習活動・学習課題の提供
多様な他者との協働
主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善

(2) 市の方針

○浜松市教育推進大綱

- ・ 市民協働によるひとづくり
- ・ 子どもの学びと育ちを支える環境づくり
- ・ 創造性あふれるまちづくり

○第4次浜松市教育総合計画

(令和7～16年度)

【基本理念】

描く夢や未来の実現

【方針】

- ・方針Ⅰ 自分や浜松の未来を創る人づくり
 - 政策1 情報活用能力の育成
 - 政策2 多様なニーズに対応したこども・保護者への支援
外国につながるこどもの学びや支援の充実

- ・方針Ⅱ 安全・安心で魅力ある環境づくり
 - 政策3 教職員がいきいきと働ける環境の整備
 - 政策4 学校安全の推進
いじめ問題への対応

- ・方針Ⅲ こどもの学びや育ちを支える連携・協働
 - 政策5 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
家庭教育支援の推進

2 学校経営構想

(1) 校訓 「佐鳴の心 勇気 友情 勤労」

— 勇気を出せ・友達思いであれ・働く汗を流せ —

(2) 学校教育目標 「つながる力を育み、よりよく生きる佐鳴の子」

(3) 学校経営にあたって

大きな社会情勢の変化のうねりが押し寄せ、様々な分野においてこれまでの対応や方法の見直しを余儀なくされており、教育界も例外ではない。様々な変化の中でも特筆されるのが、教育DXの号令よろしく、ICTの積極的な利活用が急務となっていることである。これからの社会のデジタル化グローバル化に対応していくためには、ICTを適切に使いこなす能力は、益々必須の能力となっていくことは間違いない。しかしそれは、これからの社会を人としてよりよく生きていくために必要な要素の一つに過ぎず、ICTの活用能力にのみ偏重した人格では、自分にかかわる人と、より良い人間関係を築いていくことが難しくなってしまうこともありうる。

学校現場にも、いよいよAIの本格的な活用が入ってくることになる。今現在も生活のあらゆる場面で使う機器には、気付かぬうちにAIが組み込まれているが、AIの言いなりでAIに主導権を握られることなく、意思決定の主体は、常に人間でありたい。

人が人として自らの生き方、考え方を自分の力で模索し、見出し、その方向に一歩ずつ進んでいく力をはぐくんでいきたい。その過程の中で「人ものこと」と深くかわりあい、感じ、考え、議論していく。その助けとしてICTを適切に活用していく。これからの教育現場にはそのような取り組みが求められると考える。

(4) 佐鳴台小学校を取り巻く地域の特性

学区は、佐鳴湖の東岸から台地にかけての起伏に富んだ地域である。樹木が多く自然環境に恵まれ、四季折々の季節感豊かな地である。また、周辺には、蜷塚遺跡・入野古墳・伊場遺跡等名所旧跡が多く、歴史的にも恵まれている。

昭和30年代頃から原野と農耕地に開発の手が加えられ昭和40年代には、個人住宅やアパートが建てられ始めた。現在では、協働センターをはじめとして、郵便局等の機関や各種商店が立ち並び、生活環境は整えられている。また、公園が整備され、街路樹も美しく、住宅街としての景観を呈している。学区にある県営住宅には、在籍児童が多く居住しているが、近年建て替え工事が進められ、新しい棟が完成しつつある。しかし、子育て世帯が居住するような間取りの物件が減少し、建て替えられた棟に、新たに学齢期の子をもつ家族が入ってくるのが少なくなっている。そもそも少子化が進む中で、このような状況下であるため、令和11年度には、オール2クラスになる見通しである。

外国につながる児童が多く在籍する傾向にあり、「様々な国籍・文化・習慣をもつ児童が通う学校」の校風が定着してきた。子供たちは、言語の壁、習慣の壁を乗り越えて交流し、共に学ぶ雰囲気醸成がされてきている。

(5) 佐鳴台小学校の教育課題

- 全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを実現し、基礎的・基本的な学力の差を広げないこと（知）…学びをつなぐ
- 多文化共生社会を支えるために人権感覚を磨き、いじめを許さない学校風土にすること（徳）…心をつなぐ
- 自分で考えて命を守る行動を身に付けさせること（体）…命をつなぐ

3 目指す子供像

- 様々な考えをつなげ、自分らしさを大切に、よりよい生き方を模索していく姿
- 人とのつながり（協働）の中で多様性を尊重し、自他の人権を大切にする姿
- かけがえのない自他の命と、そのつながりを大切にする姿

4 目指す学校像

地域と共にある 佐鳴の心の響きあう学校（自立と共生を目指して）

5 目指す教職員像

- こどもの自分らしさを受け止める教職員
- 愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- 専門性と指導力を磨き続ける教職員

6 学校経営推進にあたって

- 学校にかかわる全ての人の命を大切にする。
- チーム佐鳴台として教職員の和と力を結集し、組織が有効に機能する組織的・協働的な学校運営を行う。
- 発達支援教育の理念を根幹に据え、一人一人の教育的ニーズを探り、適切な指導・支援を考えて寄り添う。（子供の多様性、個性の違いを価値あるものとして、互いを受容し合う温かな雰囲気）
- 学校・家庭・地域等がチームとして、協働して児童の育成に取り組む。
- 全職員でカリキュラム・マネジメントをし、教育活動を常に精査する。
- 教育DXの推進による個別最適な学びと協働的な学びの更なる充実と、教職員の事務処理の効率化

7 特色ある学校づくり

○さなレンジャー	<p>勇気・友情・勤労 3つの心の啓発</p> <p>※ 児童会のキャラクター</p> <p>※ SDGs推進の基盤(心)</p>
○響き合うさわやかな挨拶	<p>孤立しない・させない(自助・共助)</p> <p>小・中でのあいさつ運動</p> <p>「小さな親切」運動静岡県本部協力校(R5・R6)</p>
○いじめ予防プログラム	<p>いじめ対策コーディネーター・担任からの話しあわせスイッチ、アンバランスパワー、シンキングエラー等について</p> <p>児童会活動・委員会活動(はままつマナー)</p>
○企業と進めるキャリア教育	<p>モデルとなる多くの大人との出会い</p> <p>仕事の準備として軸をつくる。</p> <p>キャリアアンカーを育てる協働授業</p>
○構成的グループエンカウンター	<p>人間関係づくり活動とスキルの習熟</p> <p>多様な仲間との対話(やさしい日本語)</p>
○クラシック・アート	<p>本物の文化・芸術との出会い</p> <p>(音楽・アート等に包まれた環境)</p>
○学校学習支援サポーター さなレンジャーPEACE さなレンジャーSAKURA さなレンジャーSMILE さなレンジャーHAPPY	<p>保護者・地域人材による学校学習支援サポーター</p>
○クラブ活動	<p>多才な講師によるクラブ活動</p> <p>保護者・地域住民によるボランティアの導入</p>
○生花教室	<p>昼休み 日本文化にふれる体験</p> <p>貢献活動(校内展示)</p>
○レッツさんとの交流	<p>昼休み インクルーシブ体験</p>
○放課後外国人指導	<p>地域人材による放課後の外国人学習サポート</p>



令和8年度 佐鳴台小学校グランドデザイン

校訓 佐鳴の心



勇気



友情



勤労



さなレンジャー

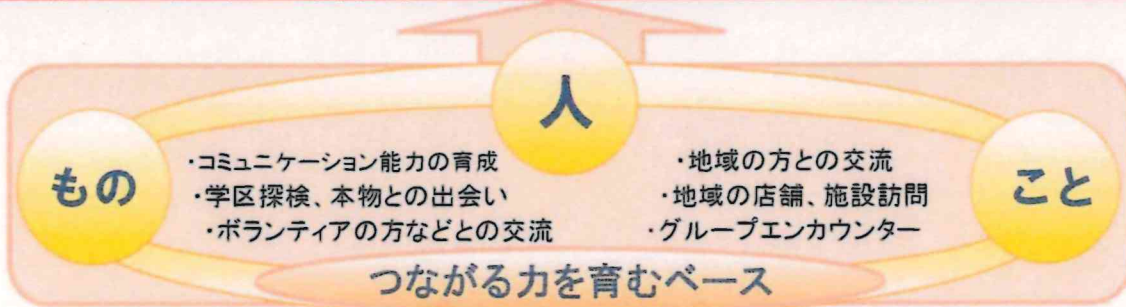
学校教育目標

つながる力を育み、よりよく生きる佐鳴の子

【目指す子供像】

- 様々な考えをつなげ、自分らしさを大切にして、よりよい生き方を模索していく姿
- 人とのつながり(協働)の中で多様性を尊重し、自他の人権を大切にする姿
- かけがえのない自他の命と、そのつながりを大切にする姿

知(学びをつなぐ)	徳(心をつなぐ)	体(命をつなぐ)
「ひと・もの・こと」とつながることを通して新たな価値を見出し、よりよい考えを導き出す力を育む	他者とつながることを通して自己肯定感を高めるとともに、多様性を受け止め、互いの人権を尊重し合える理解力・判断力を育む	自らの心身と向き合うことを通して、自他の命の大切さに気付き、たくましく生き抜く心と体を育む
基礎・基本が身に付く授業 個別最適な学び・協働的な学びの 実践 思いを伝える語彙力の向上	知識及び技能 心がつながるあいさつ 児童会(さなレンジャー)によるつげ な活動の充実	心身の健康に関する学びの場の設定 主体的に取り組める運動会、持久走、 長縄など体育的活動の工夫
自分の考えや思いを発信する授業 多様な考えに触れ、議論を通して 考えを深め、広げる授業 表現する機会の設定 (さなる楽学発表会)	思考力・判断力・表現力 道徳の学習の時間を大切に、人間 関係を築く 特別活動の時間を中心とした構成的 グループエンカウターの実践	自分で考えて命を守る行動(自助・ 共助)を身に付けさせる(避難訓練・ 交通安全・病気の予防)
人・もの・こととのつながりから学 びを深めることを意識した授業	学びに向かう力・人間性等 自分の良さを発揮し、多様な他者と かかわる場の充実(学級活動等)	自分の心身の健康・運動との関わり、 体力を振り返る場を作る



【目指す学校像】 地域と共にある 佐鳴の心の響きあう学校 <自立と共生を目指して>

【目指す教職員像】 こどもの自分らしさを受け止める教職員
愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
専門性と指導力を磨き続ける教職員

第4次浜松市教育総合計画 ～ 描く夢や未来の実現 ～

未来を創る人づくり

- ・情報活用能力の育成
- ・多様なニーズに対応したこども・保護者への支援
- ・外国に繋がるこどもへの支援

安全・安心な環境づくり

- ・教職員がいきいきと働ける環境の整備
- ・学校安全の推進
- ・いじめ問題への対応

学びや育ちを支える連携・協働

- ・CSと地域学校協働活動との一体的な推進
- ・家庭教育支援の推進
- (・9年間で目指す子供像を共有した小中一貫教育)

令和8年度

佐鳴台小学校

「つながる力」の基となる「コミュニケーション能力」

「人」とよりよく、温かくつながるコミュニケーション

話す力

- ・ 語彙力
- ・ 話型
- ・ 場に合った話し方（言葉遣い、声の大きさ）

聴く力

- ・ 温かい聴き方（体を向けて聞く、頷き）
- ・ 目と心で聴く
- ・ 聴いたことを自分とつなげる

共感力

- ・ 相手の考え、立場を知る
- ・ 自分との違いを理解する
- ・ 違いを認める
- ・ 相手への敬意

自己肯定感

- ・ 相互のよさを伝えよう
- ・ 自分の良いところを知る
- ・ 「発表」の経験を積む

日々のあいさつ